図書館から

新しい本が入りました

空飛ぶ広報室

有川　浩／著

小説

職業、広報官。取り扱い商品は「航空自衛隊」！事故により戦闘機パイロットとしての道を絶たれた空井大祐が配属されたのは、広報室だった…。

ちい散歩地井さんの絵手紙　最終集

地井　武男／著

一般書

訪れた街への感謝の気持ちが伝わる〝地井さんの絵手紙〟。ほのぼのとして温かな世界を楽しむことができる1冊。

はやくおおきくなりたいな

サトシン／著

絵本

ぼくは幼虫のようちゃん。大きくなったらカブトムシになれるかな？それともクワガタムシ？ついに大人になるときがきて…。

今年も観光大使がんばりました

訓中3年修学旅行

町は、今年も訓子府中学校の3年生62人を「訓子府町ふるさと特別大使」「訓子府町ふるさとPR委員」として8月23日に任命しました。訓中が毎年修学旅行で実施している地域学習「訓子府町PR体験」を後押しするものです。大使には今田将斗くんが就き、全員で8月28日にJR函館駅で、手作りのパンフレットを配布したほか、くんねっぷ音頭の踊りを披露するなど、訓子府町を大いにPRしました。

おじいちゃん、おばあちゃん元気いっぱいに競技

第35回高齢者スポーツ大会が8月3日、町スポーツセンターで、18の単位老人クラブから283人が参加して開かれました。

1チーム35人でボールを頭の上や股の間を通す「ボール送り」や玉入れ用の玉を途中で拾って前方のかごに入れ、ゴールをめざす「うまく入るかな」など全部で9競技が行われました。

おじいちゃん、おばあちゃんの懸命な姿に会場内は大きな声援が沸き起こっていました。

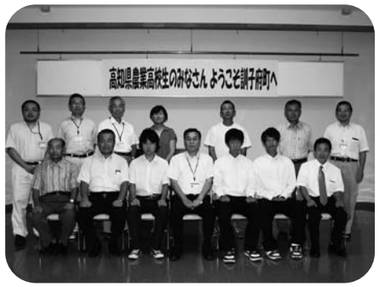
訓子府のスイカ　徐々に流通拡大へ

訓子府町スイカ研究会（西森信夫代表）は、訓子府をスイカの産地にと「紅まくら」栽培を続けていますが、3年目の今年度、「赤い宝石」という商品名で流通に乗せ、栽培も軌道に乗り始めました。

8月6日に役場を訪れたメンバーは「次年度以降、流通拡大を図りたい。PRなどさまざまな形で応援を」と菊池町長にアピールしていました。

訓子府町へようこそ

高知県農業高校生も来町　大規模農業を体験



高知県の農業高校生が今年も8月21日に来町しました。

北見地方1市3町に17人が訪れ、訓子府町には春野高校と幡多農業高校の男子3人。公民館で歓迎式が行われ、「北海道農業を肌で感じたい」と抱負を話していました。

3人は、28日まで町内の酪農家、畑作農家で大規模農業などを実際に体験。3人ともに広い畑などに驚きながら、実習に励んでいました。

姉妹町・津野町から交換留学生

小学生4人がホームステイし通学

訓子府町の姉妹町・高知県津野町から4人の交換留学生が8月17日に来町しました。

葉山小学校と中央小学校の各2人と津野町教育委員会の平井　尋学校教育課長が訪れました。

公民館で歓迎セレモニーが行われ、交換留学生は元気いっぱい自己紹介をしました。

24日朝までホームステイしながら、訓子府小学校、居武士小学校に通学、町内の児童と交流を深めながら授業を受けていました。

盆踊り

豊年盆踊りが8月12日に仲町公共駐車場で、日出盆踊りが8月14日に日ノ出地区ふれあいセンターで、それぞれ行われました。

太鼓の音が響き渡る中、子どもたちは浴衣姿で一生懸命に踊り、大人の仮装盆踊りでは、手作りの衣装で踊りが披露されました。

地元や帰省している大勢の見物客は、訓子府の短い夏を満喫していました。

豊年盆踊り

日出盆踊り

仮装などで行く夏を惜しむ